



報道各位

公益財団法人 自然エネルギー財団

〒105-0021 東京都港区東新橋 2-18-3 ルネパルティーレ汐留

TEL: 03-6895-1020 / FAX: 03-6895-1021, info@jref.or.jp

担当：真野秀太

デザーテック財団との基本合意書（MOU）締結について

公益財団法人 自然エネルギー財団は、アジア地域における自然エネルギーの導入拡大と、その基盤としての「アジアスーパーグリッド構想（ASG）」の実現に向けて、デザーテック財団（在ドイツ・ハンブルグ）と自然エネルギー基本合意書（MOU）を締結いたしました。

自然エネルギー財団は、ASGの実現により、日本、韓国、中国、モンゴル、ロシア等の近隣諸国と送電ロスが少ない高圧直流送電線（HVDC）で連系し、国境を越えた広域的な電力システムの構築とアジア地域に存在する豊富な自然エネルギーを最大限活用することを目指しています。デザーテック財団は、欧州や中東、北アフリカにおいて、自然エネルギーのポテンシャル調査や HVDC 技術の活用に関する調査・研究の実績を有しており、ASG 構想の実現に向けた取り組みを進めるに際して参考となることが期待されます。

自然エネルギー財団代表理事のトーマス・コーベリエル博士のコメント：

「過去数年の間に、太陽光や風力のエネルギーを活用する技術は飛躍的に改善されました。近代的な送電技術を併用することで、自然エネルギーは地域の経済的繁栄に長期的に寄与することができます。アジアスーパーグリッドの構築は困難な取り組みであり、ハイレベルな国際的協力関係が必要となるものですが、非常に価値がある取組です。この取組を進めるに際して、デザーテック財団の経験を活用できることを嬉しく思います。」

デザーテック財団事務局長のティモ・グロップ博士のコメント：

「自然エネルギーの導入拡大と東アジアの砂漠における無尽蔵な太陽エネルギーの有効な活用は、モンゴル、中国、日本、韓国、メコン地域の現在そして将来世代の生活環境を改善させることができます。さらに、地球上にある最も豊富なエネルギーを利用することによってこれらの国に地球温暖化問題に対して中心的な役割を果たす機会を提供することになります。」

公益財団法人 自然エネルギー財団について

2011年9月に、孫正義(ソフトバンクグループ代表)を設立者・会長として発足、理事長トーマス コーベリエル(元スウェーデン・エネルギー庁長官)を中心に、自然エネルギーを中心とした社会の構築を目指して活動しています。

アジア地域の自然エネルギーの導入拡大を目的として、国境を越えた送電線の整備を目指す「アジアスーパーグリッド構想」の実現に向けて調査・研究を進めています。



自然エネルギー財団
JAPAN RENEWABLE ENERGY FOUNDATION

デザーテック財団について

デザーテック財団は、科学者や政策決定者等のステークホルダーの参加を得て、2009年にドイツ・ハンブルグにて設立。既存の化石燃料や原子力による電力システムから自然エネルギーを基盤とした電力システムへの転換により、今後増え続ける世界人口に対して持続可能なエネルギー供給の重要性を提唱しています。世界の自然エネルギーのポテンシャル調査や、欧州-北アフリカ間の高圧直流送電線の整備のフィージビリティ調査・研究、普及啓発を進めています。

(ホームページ：<http://www.desertec.org/>)

DESERTEC
FOUNDATION